

事務事業名		地域産品ブランド化事業			会計	一般会計				
					事業種別	政策	開始	17	終了	
課等名	工業課	係等名	工業振興係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり							
目的	対象(誰・何を)	地場産業製造企業 農産物生産販売事業者				対象指標	指標名及び単位			24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	ブランド力の向上と企業間の協力体制を築くことで、付加価値の高い産品を生み出し、企業の安定的な成長をねらう。					地場産業関連企業及び生産団体			185
	向上させたい上位施策の成果指標	海外チャレンジ事業による新規商談成立商品数(累計)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	付加価値を高めた案件			5	5	5	5		
	定性目標									
	定性的目標									
事業概要	<p>地元産品を売り出しブランド化させることにより、付加価値を高め経済を活性化する。南信州地域を対象エリアとする産業センターへの委託事業とするが、農・商・工・観・林などの連携事業として実施する。専門家からのアドバイスを受けながら、域産域消も含め地域産品をブランド化し、販売戦略を構築する。国内外にブランド力のある「市田柿」を前面に出しながら、東アジア地域を中心とする将来性のある市場へのPRを図る。(※農業課の地域農産物等の海外輸出チャレンジ事業を統合(H23年度から))</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 農工商連携コーディネーターの配置支援				1 人			1 1人		
	2 南信州ブランド化の支援				2 (1) 荒茶生産量/ (2) 養殖数/モニタリング数			2 (1) 19t (2) 200尾/6回		
	(1) 南信州茶の再興による生産と販売強化 (2) 遠山郷温泉水を活用した「温泉とらふぐ」の試験養殖・モニタリング (3) 域産域消のための商品販売PR				3 (1) 出展回数 (2) 出展参加企業延数			3 (1) 3回 (2) 6社		
	3 南信州飯田海外チャレンジ事業(食産協「海外市場開拓研究会」の支援)				4 相談案件数			4 35件		
	(1) 海外に精通した人材(商社OB人材)との情報交換 (2) 東アジア(台湾・上海・香港・シンガポール等)エリアの市場調査を兼ねた展示会の出展と優良顧客の新規開拓 4 農工商等連携・6次産業化の推進 5 伝統的地場産業の振興 産業親善大使の制度新設【24新規】				5 任命人数			5 1人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		6,516	3,679	3,679	3,300					
国庫支出金		2,560								
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		3,956	3,679	3,679	3,300					
人件費計(千円)②		715		715						
正規職員所要時間		200		200						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		7,231	3,679	4,394	3,300					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>伝統地場産業については、飯田産業(水引・市田柿)親善大使として小椋ケンイチ氏に委嘱し、イメージ向上に資することができた。農工商連携コーディネーターとの連携により、温泉とらふぐ、ドライフルーツ、ゆず加工、大豆加工等の事業化を推進することができた。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	温泉とらふぐ事業の事業化には、採算ベースにのらず主体者が見つからない状況である。6次産業化・農工商連携を推進するためには、体制の整備が必要である。								
	②改革提案	当面事業化は見送り、南信濃振興公社が中心となりとらふぐ事業を継続する。販路面においては、工業課・産業センターが一部支援を行う。6次産業化・農工商連携推進の相談窓口を一本化する。								